広報
さめがわ
昭和55年
3月号
No. 315
編集兼発行
鮫川村総務課
協町佐藤印刷所



全村の納税完納継続23年の栄光をたたえて

鮫川村の恒例行事納税表彰式が２月18日山村開発センターで盛大に挙行されました。

この日142名の組長さんほとんど欠席なく、多数来賓の方々ご臨席のもと功労者の表彰が行われました。

行政区では28年間連続完納の西山区が最も長く、村全体では継続23年間の完納となりました。

しかも年内の全納税完納で、この実績は県内にはその例がなく、全国的にもめづらしい美挙であると賞讃されました。

この美しい伝統は長く後の世代にも伝えたいものであります。

⊙ 第３日曜日　家庭の日

⊙ 市町村別年間交通事故防止コンクール実施中

⊙ まずゆとり　車間距離にも心にも

今月の人口

（３月１日現在）

		前月比
人口	5,750	（＋７）
男	2,871	（＋５）
女	2,879	（＋２）
世帯	1,162	（－１）

昭和五四年度交通事故防止コンクール
―赤坂・東野、石井草区第一位―

村では、毎年行政区単位の交通事故防止コンクールを行っていますが、昭和五四年度は七月一日から一二月三一日までの六か月間について行われました。

このコンクールはコンクール実施期間中、石川、棚倉両警察署管内において発生した事故や違反の件数を行政区単位に分け、区の人口に対して違反等の発生件数の割合の最も低かった行政区を三位まで表彰するもので、昭和五四年度は一位が赤坂東野・石井草区、二位渡瀬区、三位赤坂中野区で二月一八日納税表彰式の席上表彰されました。以下富田区、西山区、青生野区、赤坂西野区の順でした。

山火事に注意！

これからは毎日風が強く吹き、空気の乾燥した日が続きます。子供の火あそびや特に山火事にはみんなで注意しましょう。

◎　子供の手の届く所にマッチやライターを置かないようにしましょう。

◎　山ではタバコの火に注意しましょう。

◎　たき火や火入れをする時は必ず消防署の許可をうけましょう。

◎　たき火をする時は消火バケツや消火器を用意し、終ったら完全に消しましょう。

◎　火入れやたき火は風の強い日はやめましょう。

◎火事と救急は
地集電話〇〇一一九番
普通電話　一一九番

これくらい
と思う油断を火が狙う！

棚倉消防署鮫川分署

おはなしみ(11)

創出すべき地方の時代

村長　石田卯子八

一九八〇年代は人々の希望や期待をこめていろいろな呼び名で呼ばれています。

中央より地方の時代都市より田園の時代、経済より文化の時代、物より心の時代など、地方であり田園地帯でもある農山村にとっては胸のふくらむ期待感が湧いてくるように思います。

しかし、オイルショックを契機として経済の高度成長が終りを告げ、低成長経済の時代に入ったことは誰しも肌で感じとれるところですが、期待される地方の時代、文化の時代が漫然と待てば来るというものでないことはいうまでもありません。

昭和三〇年から四五年までの一五年間、日本の高度成長華やかな時代に、東京、名古屋大阪の三大都市圏に集中した人口増加は一、五二七万人と計算され、四六・六%の増となっております。

それがオイルショックを中にした昭和四五年から五〇年までの五年間の人口増加は四九八万人で増加率は一〇・四%に低下しました。

これに代って人口一〇万人以上の地方都市の人口増は一三%内外から一五%に上昇していますから人口の流れが三大都市圏から地方都市に流れを変えてきたことは明らかであります。

このような潮流の中にあって、鮫川村の人口の動きは昭和三〇年から一五年間の人口減が一、八五二人で二二・四%、その後の五年間の人口減も一一%と続いており、これは全国過疎町村と同じ軌跡を示しております。

これら人口の流れで見る限り、地方の時代は地方都市まで来つつあるかの感じですが、農山村の過疎現象は依然として止ることなく、国会では新しい過疎地域振興法案が議員提案で審議されようとしている有様であります。

時代の潮流というものも、その時代の多くの人々の統合された意志と努力と行動によって起されるものと考えなければならず、われわれは自らの意志と努力と行動によって新しい地方の時代を創り出さなければならないことを理解すべきでありましょう。

それには教育も福祉も産業も、地方的文化的視点から見直す必要があり、新しく豊かな活力ある人間形成を目ざす教育、ゆとりといこいと心のふれ合いのある居住環境の整備、自立と連帯と思いやりのある魅力的な地域社会、経済の変動にたえ得る強靭な産業構造などに、新しい企画と実践が求められるのであります。

これらの目標に向って、施策を方向づけ、村の新農業構造改善事業、林業地域総合整備事業などを効果的に機能させていきたいと考えるものであります。

人事異動

（三月一日付）

退職
白坂　セイ子（給食センター）

おめでた

一月
滝　面川　崇　父面川信和
大戸中　鈴木　勝則　父鈴木隆男

二月
青生野　大森真由美　父大森嘉幸
酒垂　石井　治　父石井富一
草牛　斉藤　暁美　父斉藤義男
余所内　関根　春美　父関根啓太郎
大塩　岡部　愛章　父岡部　源
青生野　平久江満男　父孚久江七郎
青生野　岡部　理恵　父岡部一郎

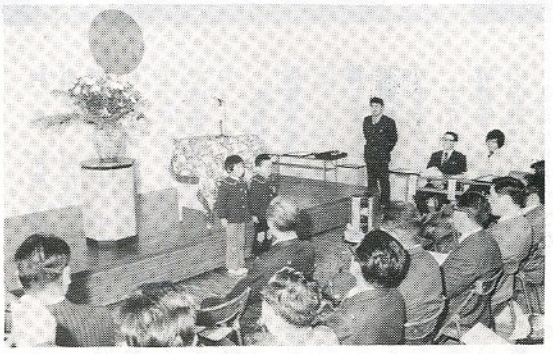
おくやみ

二月

	年齢	世帯主
西野内	関根豊子54歳	関根初男
関口	藤田辰男74歳	藤田マサ

市町村別年間交通事故防止コンクール実施中　　1月1日～12月31日





館山の南、巡ケ作地内に建築中であった鮫川幼稚園舎が立派に完成しました。お伽の国に出てくるような美しいデザインの園舎の落成式は2月7日に行われ、父兄や来賓の方々多数臨席されました。

その席上男女2人の園児が可愛い謝辞を述べ参会者の感動をよびました。

停留所以外でもバスの乗り降りができます

このたび福島交通ではサービス向上の一環として、どこでも自由に乗り降りできる便利な区間を次のとおり設けたので、利用して下さいとのことです。

一、自由に乗り降りできる区間

石川（西山）・鮫川線　立ケ岡停留所～官沢入口停留所間

石川（西山）・滑石線　立ケ岡停留所～滑石停留所間

二、実施予定日　昭和五五年三月三一日から

三、乗降方法

◎乗車の際は、道路左側の安全な場所で早めに手を上げて合図して下さい。

バスの直前を横断したり、急なとび出しは絶対にしないで下さい。

◎降りる際は早めに降り場所（希望地点のおおむね五〇メートル手前で）を降車ボタンを押して合図し、バスが停車してから席を立つようにして下さい。

◎フリー区間であっても、交通の妨げになるところでの乗り降りはご遠慮下さい。

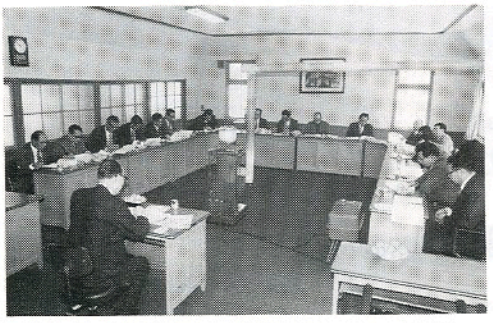
◎停留所が近くにある場合は、停留所をご利用下さい。

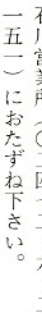
◎道路、交通の状況により多少前後して停車する場合もありますので、ご了承願います。

四、運賃は乗車する区間の外側の最も近い停留所間の運賃になります。



差点、急な曲り角、急な坂道、見とおしの悪いところ、他の





Ⓐ…乗車区間…Ⓑ

ⒶからⒷまで乗車のときは……①から③までの運賃となります。

詳しいことは福島交通本社（〇二四五―二三―二一三一）または石川営業所（〇二四七二―六―二一五一）におたずね下さい。

村議会議員団の一行17名は、昭和54年度で完了する阿武隈山系開発事業の現地調査を行いました。2月19日は降りしきる雪を冒しての強行軍でしたが、各団体について熱心な調査が行われ、最後に役場に帰って今後の対策等について研究討議が行われました。

上はデコボコの山林原野や不便な小規模農地を含めて32ヘクタールの集団農用地を開発した江竜田団地を調査する一行。

戸籍届をお願いされる方へ

今年は、五年に一回行われる国勢調査の年です。

この調査に併せ、国では職業、産業についての統計をつくるため、四月一日から来年の三月三一日までの間に、出生、死亡、死産、婚姻、離婚の届出される方は、職業を具体的に記入していただくことになりますので、ご協力下さい。

なお、記入について、わからないときは届出の際、役場窓口で、お聞きください。

（住民課戸籍住民係）

自衛官募集！

詳しくは村役場総務課へ

村長を囲み 村政聞くの会開かれる

― 商工会青年部 ―

去る一月二一日、役場会議室において商工会長、商工会青年部長をはじめ一四名が出席し、村長を囲み村政について熱心に質問や要望が出されました。

出席者及び聞くの会の内容は次のとおりです。

出席者（敬称略・順不同）

石田村長、藤田商工会長、大楽勝弘青年部長（司会）、円井浩明、須藤宏、湯座良政、橋本正嗣、蛭田美代志、古館誠二、円井利一、鈴木優、矢吹孝夫、湯座好郎、柿沼源義、青戸カツ子



新農構事業の概要について

円井浩明 新農構事業の概要、予算額及び事業主体について、またこれらの事業を村内工業者が受注できるかどうかおたずねします。

村長 新農業構造改善事業は、現在国に計画概要書を提出中ですが、これが正式に決まれば昭和五五年度から五か年計画で実施することになります。

総事業費は補助事業と融資事業を合せて一三億三、八三三万五千円と概算しましたが、国県の事業費枠の都合で一部減額かあるかと思います。

主なねらいは地域の環境整備と、農業の近代化の促進にあります。

農業近代化のために、タバコの育苗センターやライスセンターを建築する計画があります。

また、塚本地区一六・六ヘクタール、岩野草地区一〇・九ヘクタールの土地基盤整備事業が計画されました。

一番重点をおいた地域環境整備事業は全体の三九パーセントを占め、この中には農業技術指導センターの建設も含まれています。これは単に農業の技術指導だけではなく、この中に無線情報システムを採り入れ、村のすみずみの情報を中央に集め、中央からの指令を全村に伝える機能をもつものです。

それからトレーニングセンターやプールを造り、村民の体力増強を図るとともに、心の交流を図る場としたい。

そのほかには、西野、西山、富田、渡瀬には大字の運動広場を造る計画があります。

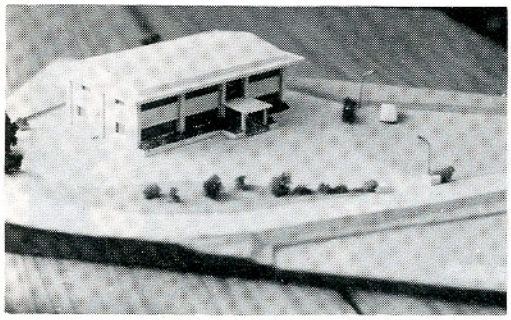
次に特認事業として、集落センター（大字公民館）を計画していますが、希望しているのは西山、中野、東野、富田、渡瀬で大きさは一六五平方メートルぐらいで、富田は一三二平方メートル木造ですが、他の四大字は鉄骨造りを予定しています。

また、小さい部落、農事組合単位では塩倉、帖長、馬場、大塩が小部落単位の集落センターを望んでいます。

新農構で計画しているのは以上で、農業技術指導センター、トレーニングセンターなどは村が事業主体で、タバコ育苗施設やライスセンターは農協が事業主体、圃場整備は土地改良区、集落センター、運動広場は大字行政区、小部落の集落センターは農事組合が事業主体になるでしょう。

その中で、鮫川村の商工業者の皆さんがどんな仕事ができるかとなると、農事組合の集落センターや、あるいは大字の集落センター、運動広場などは入札に参加してできるのではないかと思います。

農業技術指導センター、トレーニングセンターなどは部分的に下請けの形で参加することが可能かと思います。従って新農構の各種事業は、可能な限りは村内の業者も腕を磨いて事業を消化して頂きたいと思っています。



新農構事業で建設が予定されている農業技術指導センターの模型。

舟木一帯に公園を

橋本正嗣 舟木地内にトレーニングセンターができる予定だそうですが、そこにできるなら館山公園を整備して、付近一帯を公園にできないものですか。

村長 このことも構想の中に考えています。

館山を公園にして、展望台、あづまやなどを造り、道路を整備してその周辺に山村開発センター、トレーニングセンター、幼稚園、農業技術指導センターを配置する。

ここが村の中心施設になり、多数の村民の憩いの場、心の交流の場となるわけです。同時に歴史民俗資料館をつくり、郷土の歴史民俗資料を収蔵し、展示する。文化の香り高い村づくりはこれも欠かせない施設です。

給食センターの物資の納入について

蛭田美代志 給食センターへの給食物資の納入は、主食（パン、ごはん）のほかはほとんど納入されてないのが実情です。

そこで納入業者の選定方法と給

あぶないよ　あるきながらの　ふざけっこ

食物資のうち、村内業者の納入割合はどの程度になっているかおたずねします。

村　長　五四年四月から一二月までの実績をみると、給食物資の購入総額は二、一九九万六千円になっています。その割合は村内業者が三一・八パーセント、村外の業者が六八・二パーセントです。村内の業者が主に納めているものはパン、ごはん、肉類、野菜、豆腐、調味料などで、村外業者が納めているものはおかず類、牛乳、冷凍食品、野菜類となっています。

これら給食物資購入の費用は、全部父兄が負担しているので村が出しているのではありません。村は給食センター職員の給料、手当、燃料、機械器具等を負担しています。

父兄の意見を最高度に尊重するため、父兄代表、学校長、PTA会長、養護の先生たちで運営委員会を作って運営の方針を定めています。献立に対する意見や原料はどうするかなども相談しています。

納入業者の選定方法についても運営委員会が、重要な役割を果しているわけです。

村内業者の皆さんも、新鮮なものを数をそろえて、低廉な価格で納めるようにすれば、受注を多くすることができると思います。

国道三四九号線のバイパスについて

湯座良政　私は、昨年の懇談会にも出ていましたが、国道三四九号線バイパスの見通しと道路整備の状況についておたずねします。

村　長　国道三四九号線は新宿商店街のまん中を通っており、道巾が狭く、交通安全の上からみても危険性が多く、バイパスの必要性は大いにあります。

しかし、今の段階では、無理のようです。鮫川村分は昭和五五年度中に全線ほ装になるとみていますが、他の町村はまだ先になるので、その方に工事が向くとなれば、バイパスは二次改築なのでかなり遅くなると思わなければなりません。

しかしながら、新宿のラッシュ時の混雑は、村としてもこのままにしておけないので、巡ケ作・宿の入線、診療所入口から宿ノ入に抜ける道路を五五年度中に拡巾して、全線ほ装にしたいと考えています。

村資金借入限度額の引き上げを

古館誠二　はじめに村内工事の発注基準について、次に村資金借入限度額を現在の一〇〇万円から二〇〇万円に、期間を三年から五年にして頂きたいと思います。第三に、商工会では今後の商業立地及び商業経営について調査を計画していますが、これらの協力について、第四に、私たち商工会員の念願である商工会館の建設にご協力をお願いしたいと思います。

村　長　村内工事の発注基準は、県の建設業者登録を受けているもの、地方自治法施行令第一六七条の四第一項及び第二項、即ち「破産の宣告を受けたり、心身喪失の状態にある者」に該当しない者、二年以内に二〇〇万円以上の工事を請負い、誠実に事業を実施して実績のある者。資本金二〇万円以上、従業員が五人以上の事業所で、現在の経営規模、経営状態が良好な者という規則になっています。

建築士等の資格を取り、二〇〇万円以下の工事でも請負って実績を積み重ね、村の指名を受けて入札に参加するのがよいと思います。

それから村の資金を商工業者の皆さんに融資して、利用されていますが、一〇〇万円の枠を二〇〇万円に増し、期間を三年から五年に延長することはただ今検討していますが、県の信用保証協会や銀行とも協議の上なるべくご要望に添えたい考えです。

次に商業の調査ですが、何でも補助という考えでなく、重点的にたとえば、商工会館の建設のような大きな事業に村の援助を求める方が筋が通るというものではないでしょうか。

姉妹都市を結び鮫川村に誘客を

円井利一　村の恵まれた自然を生かし、都会にない魅力をPRして誘客をしてはどうでしょうか。そのために都会と姉妹都市を結び、都会の子供たちを夏休みなどに村内に来てもらい、旧戸草分校や東野分校を利用するのはどうでしょうか。

村　長　これも毎回座談会に出ていますが重要なことです。

村と都市との話もよいが、本村出身で東京などに行っている人たちに呼びかけて話を進めてもらい、こちらでは戸草分校などの施設を改良して、受入れ体制をつくることを考えてみたい。

それと鮫川村を訪れた人に、お土産を買ってもらうように商工会の皆さんが鮫川村の特産になるお土産品を考え出してくれることをお願いしたいものです。

統一祭礼を一〇月第一日曜日に

橋本正嗣　村が計画している豊かな村づくりについておたずねします。

商工会青年部では統一祭礼にみこしを繰り出し、昨年からは花火の打上げをしましたが、今後、この行事を継続し、伝統的なものにしてゆきたい。しかし、昨年は平日であったために人出が少なかったので、村の統一祭礼を一〇月の第一日曜日にすることができないものですか。また花火の打上げについては、安全を期するためにも村のご支援とご協力をお願いします。

次に、昨年商工会婦人部で実施した「花いっぱい運動」を村と協力して全村的なものにしていきたいと思いますがどうでしょうか。

村　長　これは大変結構な話で、統一祭礼をもっと盛大に村をあげて実施するには日曜日がよいともいえるので検討してみたい。

ただ一〇月一日は神社の例祭で縁起のある日をとったものであるし、統一祭礼も最近定着したばかりであるから、いきなり変更も問題があるでしょう。組長会などで世論の動向、神社側の意見などを聞いてみることにしましょう。

みこし、花火も盛大に今後とも続けてもらいたいものです。

それから「花いっぱい運動」も各地で行っているが、村も協力して環境美化運動を推進したいと思います。

五五年度の予算と重点事業

鈴木優　昭和五五年度鮫川村予算設定の基本計画や五五年度の重点事業について、八〇年代の村づくりについておたずねします。

村長　五五年度の予算は、国の補助金、交付金等が今までのように望めないので、新規事業は難しいが、新農構事業の初年度であるし、勿来の発電所からの電源立地対策交付金一億円などが入るので、住民負担を重くしないで、魅力ある郷土づくりを進めたい考えです。

一つは豊かな、活力ある人づくりという点から教育と文化に重点をおいています。

教育施設の中では鮫川小学校の二期工事で、全校舎の建築を完成する。幼稚園が独立して最初の年を迎える。またこの際、郷土文化振興のために歴史民俗資料館を建設したい。

産業関係では畜産の振興に重点をおき、タバコ、野菜、しいたけなどの栽培にも力を入れ、複合型農業を確立したい。

新農構事業の中で五五年度に行われるのは、葉タバコ育苗センター、岩野草、塚本の土地基盤整備事業を行う。集落センターは中野、西山、富田の三か所をつくる計画を進めています。

住民福祉関係では保育所、児童館の入所希望者をできるだけ多く入所できるようにしたい。

それからどこの高等学校も生徒が少ない時代に入るが、なるべく村の高等学校に入ってもらって五五年度中には、新しい高校の敷地を検討し、二～三年の間に新校舎ができるように県に働きかけていきたい。

そのほか住みよい環境づくりのため、道路の整備を進める。

国道三四九号線を五五年度中に村内分を全線は装にしてもらう。

新宿地内のバイパスに代わるものとして、巡ケ作から宿ノ入に出る道路を村で改良は装にすることも計画したい。県道黒田浅川線の東野地内、村道、林道も次々に整備してゆくことを計画したい。

八〇年代地方の時代を迎え、ものより心、経済とともに心を大事にする世代の潮流に添って、行政の方向を位置づけてゆく考えです。

簡易水道の計画は

矢吹孝夫　村には全村的な簡易水道の計画があると聞いていますが、今のところどのようになっているのかおたずねします。

村長　水の問題は非常に重要な問題で、是非村中に簡易水道が行き渡るようにしたい考えで調査を進めております。今のところ、どの水源を採るべきかは決定していません。

現在使用している水道は鍬木田の国有林に湧き出る水を利用しているわけで、湧き水を利用すれば濾すことも、くみ上げることもしないですむので費用が安くてすみます。

今、鮫川の上流で戸草から流れている水を天狗橋付近でとらえて、一年間に水量がどのくらいあるか、変化の状況、水質等を調査しています。

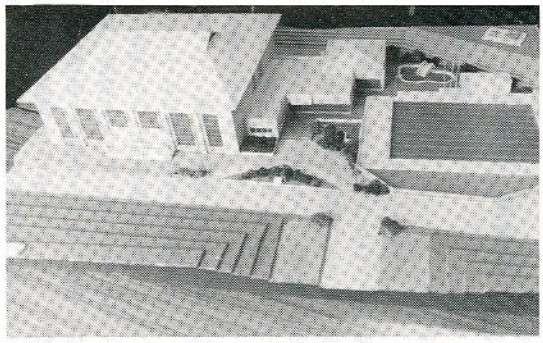
水道を全村に引くとなると、約一〇億円の費用がかかりますので今すぐにというわけにはゆきませんが、いずれ全村に普及させたいと考えています。

みんなで利用できる施設の配置を

湯座好郎　新農構事業により村内にいろいろな施設ができるようですが、効果的に利用できるよう配置して頂きたいと思います。

村長　村でつくる施設は、村中の多数の皆さんに有効に使ってもらうようにつくるわけですから、有効適切に使用できるよう配慮していくことは当然です。

施設の管理面に問題はあるが、スポーツ施設などは夜も利用できるように工夫したいと思っています。



新農構事業で建設が予定されているトレーニングセンターの模型。

司会　そのほかに何か質問があればお願いします。

湯座良政　最近、水道の故障が多いので困っています。できるだけ少なくして頂くようお願いします。

村長　最近の水道故障の原因は、前沼地内の県道工事の関連で、地盤が軟弱なため水道管に亀裂を生じたりして迷惑をかけています。

地盤の軟らかいところは石綿管から鉄管に順次取り換えているので、故障はなくなると思いますが、今後十分注意して故障をおこさないよう現場に指示しています。

商工会長　商工会館建設の問題で敷地がなかなかみつからないが、村で適当な敷地があれば協力して頂きたいのでよろしくお願いします。

村長　村として特によいという場所をもっているわけではないが、やはり新宿の街の中にある方が会館としては望ましいのではないか。できれば駐車場も欲しいが、これは今後の研究課題ですね。

司会　まだいろいろお話はあるかと思いますが、これをもちまして村政聞くの会を終ることにします。村長さんには、お忙しいところありがとうございました。

広報に あなたの声を

広報についてのご意見、ご要望、原稿、カット、写真など何でも結構です。

原稿用紙、ノートなどに住所、氏名、年齢、職業を記入の上、村役場総務課「広報さめがわ」係まで、お気軽にお寄せ下さい。





村と日本栄養士会県支部が主催して栄養と健康づくりの集いを２月20日開発センターで開きました。健康こそ人生の至幸、その健康は栄養と運動によってつくられます。この日多数の参加者の皆さんは、血圧測定や脳卒中とその予防と題する講師の講演、栄養食品の調理実習と忙しくも有益な１日をすごしました。

交通安全は家庭から

交通事故をなくすためには、国民一人ひとりの自覚と実践が必要ですが、家庭には車を運転する人、歩行する人、また幼児からお年寄りに至るまで、各世代の人々がいっしょに住んでいますので、家庭こそ交通安全教育の最も大切な場であるといえます。

また、ひとたび交通事故をおこしたり、交通事故にあったりした場合、悲惨な影響を直接受けるのも家庭です。

それで交通安全について家庭で話し合い、無事故を誓い合うことが、家族一人ひとりの自覚を高め、家庭の平和を守ることになるわけです。

一、家庭ぐるみの実践目標

◎ 正しく安全な道路横断の励行
◎ 飲酒運転、過労運転、無免許運転の追放
◎ 安全速度の励行
◎ 自転車の安全な利用
◎ 夜光反射の着用（光るものを身につける）

二、家族一人ひとりの約束

(一) こども
◎ 道路に急にとび出さない
◎ 道路で遊ばない
◎ 車のすぐ前、すぐ後ろを通らない
◎ 自転車に乗るときはルールを守る

(二) お年寄り
◎ 正しく安全な道路横断をする
◎ 自転車に乗るときは特に気をつける
◎ 夜間出かけるときは、目につきやすい色の衣類を着用する

(三) 車を運転する人
◎ 学習会などに積極的に参加する
◎ 家族の人に交通安全の手本を示す
◎ 家庭で交通安全の話題を出す
◎ 朝、見送るときに交通安全のひと言を添える

(四) 主婦
◎ 安全なスピードで運転する
◎ 飲酒運転は絶対にしない
◎ ゆずり合いの心で運転する



市町村別年間 交通事故防止コンクール実施中

◉交通事故発生状況

区　　分	発生	死亡	傷者
村内の交通事故	0	0	0
村内居住者が村外でおこした交通事故	0	0	0

55．2．29現在

休日の在宅当番医

（3月～4月）

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
3月2日(日)	菅原	中島	
9日(日)	薄葉	根本	
16日(日)	大木	厚生病院	
20日(木)	藤巻		慈泉堂
23日(日)	棚倉町診療所	石川	
30日(日)	和田	厚生病院	
4月6日(日)	阿部	中島	
13日(日)	藤田	根本	
20日(日)	勝田	厚生病院	
27日(日)	菅原		慈泉堂
29日(火)	薄葉	石川	

心配ごと相談　3月21日　山村開発センター





公民館主催の老人婦人青年のつどいが、2月15日開発センターで開催され、住みよい地域社会づくりを目ざして講演や話合いが行われました。

上は県社会福祉協議会事務局長三浦進先生のお話、下は熱心な参加者の皆さんの聴講風景です。

地域の人々の心のふれ合いと教養を高めるこの集会は、参加者も多く、予期以上の成果をあげました。

4月から国民年金の保険料が改定されます

四月から、国民年金の保険料が一か月三、七七〇円に改定されます。

老後の生活の支えとなる国民年金は、その値打ちが下がらないように、物価の変動に応じて年金額のスライドを行うなど、毎年のように給付額の改善が行われています。

国民年金制度が、長期間にわたって健全に維持されるためには、年金額のアップなどに伴って、払い込み保険料も改定していかなければなりません。

国民年金制度をより充実したものにするために、是非ご協力下さい。

退職金と税金

サラリーマンならいつかは「退職の日」がやってきます。そのとき手にするのが退職金ですが、その退職金の支給を受けるときには所得税と住民税が源泉徴収されます。

退職金は、長い間の勤労の対価であり、退職後の生活のためにも大切なものですから、他の所得と分離して課税されるなど軽い負担ですむようになっています。

〈退職所得の計算〉

（退職金の額－退職所得控除額）×$\frac{1}{2}$＝退職所得

この退職所得に、所得税の税率をかけたものが、所得税額であり住民税の税率をかけたものが住民税額となります。

〈退職所得控除額〉

退職した人の勤続年数に応じ、

一、勤続年数が二〇年以下のとき

二、勤続年数が二〇年以上のとき

（勤続年数－二〇年）×五〇万円＋五〇〇万円

なお、退職所得の計算などでわからないときは白河税務署、または役場総務課税務係におたずね下さい。

（住民課保健係）



岩野草部落では婦人消防隊を結成して家庭の予防消防に努めていますが、今年は消防分署長さんらの指導をうけて、各家庭の台所や風呂場などの検査、消火器の使用法などについて熱心に研修しました。

ゴミは収集日の朝持ち出しましょう

三月と四月のゴミ収集日は次のとおりです。各家庭のゴミは袋等に入れ、散乱しないよう収集日の朝持ち出しましょう。

なお、燃えないゴミは一週間おきと毎月一回の収集コースがありますので間違いのないようご利用下さい。

（住民課保健係）

3月～4月のゴミ収集日

収集コース	種別	3月	4月
江竜田～中野町～彦次郎 広畑～新宿（新宿橋まで）	可燃物	毎週月・木曜日 20日を除く	毎週月・木曜日
	不燃物	（隔週月曜日） 10日・24日	（隔週月曜日） 7日・21日
新宿（新宿橋から）～道少田 ～大堰コース	可燃物	毎週火・木曜日 20日を除く	毎週火・木曜日 29日を除く
	不燃物	（隔週月曜日） 10日・24日	（隔週月曜日） 7日・21日
真坂～茅～酒垂～宝木 ～水口～官沢コース	不燃物	（隔週水曜日） 5日・19日	（隔週水曜日） 2日・16日・30日
越虫～青生野～戸草～蔵ノ草 ～官代～遠ケ竜コース	不燃物	（隔週火曜日） 4日・18日	（隔週火曜日） 1日・15日
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田 ～沼野沢一岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	毎月第1金曜日 7日	毎月第1金曜日 4日

※収集日が休日の場合は、ゴミ収集は行われませんので、次回の収集日に出して下さい。

たばこは村内の小売店から買いましょう